

アフタ性口内炎

アフタ性口内炎は、舌、唇、頬の粘膜にできる痛みの強い小さな潰瘍（かいよう）です。

アフタ性口内炎の原因は、はっきりとわかっていません。

習慣的に、アフタ性口内炎ができる方は、日常次の事を御注意下さい。

過労を避けてください。

口の中をいつも清潔にしてください。（むし歯、歯肉の治療、うがい等）

偏食（へんしょく）をさけてください。

アフタ性口内炎の治療には決定的なものはありません。

アフタ性口内炎の適切な予防方法はありません。

口内炎用の軟膏を患部にぬるのが最も有効です。

軟膏は、食後（歯をみがいた後、うがいをした後）と、寝る前にぬってください。必要以上に多量に軟膏を塗ると、後で溶けてきて口の中が気持ち悪くなるときがあります。

ビタミン剤の内服や注射は、私の経験では効果がありません。

ピオクタニン（紫色の薬）をぬったり、ある特殊な薬で患部を焼く治療も効果はありません。

アフタ性口内炎は、くりかえし再発しても心配な病気ではありません、

義歯（入れ歯）があたって、口内炎ができる方は、歯科で義歯の調整を受けてください。義歯かあたり続けると、その部分から、癌等に変化する心配があります。

同じ部分の口内炎がいつまでも治らない場合は注意が必要です。普通の口内炎ではなくて、腫瘍（例えば癌等）を疑わなければなりません。2週間以上、同じ部分に口内炎が出来ていたら放置せずに必ず御来院下さい。精密検査が必要な事もあります。

矢野耳鼻咽喉科 医学博士	藤沢市善行 1-25-11 日本耳鼻咽喉科学会専門医 日本耳鼻咽喉科学会専門医 日本耳鼻咽喉科学会専門医	8 1 矢野 矢野 矢野	3 5 4 1 潮 ゆかり さゆり
-----------------	---	-----------------------	----------------------------